



2020年2月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年4月13日

上場会社名 株式会社さいか屋 上場取引所 東
 コード番号 8254 URL <http://www.saikaya.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長兼社長執行役員 (氏名) 岡本 洋三
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 堀江 肇 (TEL) 046 (845) 6803
 定時株主総会開催予定日 2020年5月25日 配当支払開始予定日 —
 有価証券報告書提出予定日 2020年5月26日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年2月期の連結業績(2019年3月1日~2020年2月29日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年2月期	18,431	△4.9	△18	—	△130	—	△130	—
2019年2月期	19,384	△2.4	△34	—	△157	—	△145	—

(注) 包括利益 2020年2月期 △156百万円(—%) 2019年2月期 △155百万円(—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年2月期	△41.97	—	△10.0	△1.1	△0.1
2019年2月期	△46.48	—	△9.9	△1.3	△0.2

(参考) 持分法投資損益 2020年2月期 一百万円 2019年2月期 一百万円

(注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年2月期	11,457	1,236	10.8	158.74
2019年2月期	11,505	1,393	12.1	208.87

(参考) 自己資本 2020年2月期 1,236百万円 2019年2月期 1,393百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年2月期	161	△229	233	681
2019年2月期	129	△177	△91	516

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年2月期	—	—	—	0.00	0.00	—	—	—
2020年2月期	—	—	—	0.00	0.00	—	—	—
2021年2月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00	—	—	—

3. 2021年2月期の連結業績予想(2020年3月1日~2021年2月28日)

業績予想につきましては、現時点では新型コロナウイルスの感染拡大や緊急事態宣言による営業体制の変更が当社グループに与える影響につきましては、その影響額の把握や業績予想を合理的な数値で示すことが困難な状況であることから未定とさせていただきます。2021年2月期の連結業績予想につきましては、合理的に予想可能となった時点で公表いたします。

※ 注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
 新規 一社（社名）、除外 一社（社名）
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年2月期	3,135,314株	2019年2月期	3,135,314株
② 期末自己株式数	2020年2月期	15,402株	2019年2月期	15,107株
③ 期中平均株式数	2020年2月期	3,120,085株	2019年2月期	3,120,278株

(参考) 個別業績の概要

1. 2020年2月期の個別業績（2019年3月1日～2020年2月29日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年2月期	18,422	△4.9	2	—	△111	—	△110	—
2019年2月期	19,372	△2.3	△37	—	△162	—	△144	—
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2020年2月期	△35.44		—					
2019年2月期	△46.43		—					

(注)1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年2月期	11,017	1,103	10.0	116.08
2019年2月期	11,022	1,239	11.2	159.68

(参考) 自己資本 2020年2月期 1,103百万円 2019年2月期 1,239百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13
4. その他	14
(1) 販売の状況	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度のわが国経済は、海外経済の減速から輸出が引き続き弱含んでいるものの、各種政策の効果もあって緩やかな回復基調にあります。一方、個人消費については、総じてみれば持ち直しているものの、昨年10月の消費税率引き上げに加え、台風や暖冬の影響により足許では落ち込みが目立っております。先行きについては、新型コロナウイルス感染症が内外経済に与える影響に十分注意する必要があります。

百貨店業界におきましては、大型台風や記録的な暖冬などの天候要因、10月の消費税増税に加え、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、厳しい状況が続いております。

このような厳しい環境下において、当社におきましては、今年度は3ヵ年の中期経営計画の最終年度にあたり、「営業力の強化」、「CS徹底の推進」、「財務基盤の強化」の3つの基本戦略を推進するとともに、2019年10月10日付「2020年2月期計画の進捗について」にて公表しました各施策の実現に全社を挙げて取り組み、業績の向上をめざしてまいりました。

「営業力の強化」におきましては、店舗営業では「店頭販売力の強化」「食品強化によるデイリーユース商材の拡大」を継続的に推進し、藤沢店では、「スキヤパ」をはじめとしたレディス・メンズのアパレルショップのほか、フラワーショップ「モンソーフルール」、「ネイルズユニーク」、「資生堂ビューティサロン」、「京菓子處 鼓月」を導入。横須賀店では、多彩な講座を持ち横須賀地域で多くの会員をもつカルチャースクールを導入しました。また外商部門では、外商顧客様に限定し「さいか屋カードポイント付与率アップ」を実施、藤沢店・横須賀店に「外商サロン」をオープンするなど外商顧客様へのサービス向上をはかるとともに、外商顧客様をはじめとした上得意様をお招きする「スペシャルインビテーション」を開催するなど、外商顧客様のロイヤリティ向上に努め、顧客接点の拡大に伴う売上高増に取り組みました。また、EC部門におきましては、中元・歳暮ギフトのECサイトのデザインを刷新するなど、お買物しやすいECサイト構築をおこないました。

上記施策に取り組み、横須賀店で入店客数が前年を上回るなど、一部にその施策効果がでてきておりますが、低温多雨、長梅雨、記録的な暖冬などの影響による衣料品の不振や台風19号の影響による臨時休業などといった天候要因、10月の消費税増税の影響により、当社全体では、全店舗で予測した売上高を下回る結果となりました。

一方、「財務基盤の強化」における主要施策である「経費削減策」について、今年度の期初より実施してきた施策のほか、新たな施策を追加し経費削減効果の上積みをはかった結果、経費全体では計画内の着地となりました。

「CS徹底の推進」におきましては、従来から推進しているCSプロジェクトを全社一丸となって継続的に取り組みました。

以上のような施策を積極的に展開いたしました。上記の低温多雨、長梅雨、記録的な暖冬などの影響による衣料品の不振や台風19号の影響による臨時休業などといった天候要因、10月の消費税増税の影響などにより、当連結会計年度の連結業績に関しましては、売上高は18,431百万円（前連結会計年度比95.1%）、営業損失は18百万円（前連結会計年度は営業損失34百万円）、経常損失は130百万円（前連結会計年度は経常損失157百万円）、親会社株主に帰属する当期純損失は130百万円（前連結会計年度は親会社株主に帰属する当期純損失145百万円）となりました。

セグメントの業績については、当社グループは百貨店業の単一セグメントのため、記載しておりません。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の総資産は、114億5千7百万円と前連結会計年度末に比べ4千7百万円減少しました。これは主に、減価償却等による固定資産の減少等によるものです。

負債については、102億2千万円と前連結会計年度末に比べ1億8百万円増加しました。これは主に、設備投資による長期借入金の増加等によるものです。

純資産については、12億3千6百万円と前連結会計年度末に比べ1億5千6百万円減少しました。これは主に、利益剰余金の減少等によるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ1億6千5百万円増加し、6億8千1百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、1億6千1百万円の収入(前連結会計年度比3千2百万円の収入の増加)となりました。主な収入項目は、減価償却費3億8千6百万円等によるものであり、主な支出項目は、税金等調整前当期純損失1億3千3百万円及び仕入債務の減少額8千1百万円等によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、2億2千9百万円の支出(前連結会計年度比5千2百万円の支出の増加)となりました。主な支出項目は、長期前払費用の取得による支出1億5千5百万円等によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは2億3千3百万円の収入(前連結会計年度は9千1百万円の支出)となりました。主な収入項目は、長期借入れによる収入7億1千万円等によるものであります。主な支出項目は長期借入金返済による支出4億5千8百万円等によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2016年2月期	2017年2月期	2018年2月期	2019年2月期	2020年2月期
自己資本比率(%)	13.5	13.5	13.0	12.1	10.8
時価ベースの自己資本比率(%)	14.5	14.1	12.4	8.2	8.9
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	—	20.9	16.9	44.1	36.9
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	—	2.1	2.8	1.1	1.4

- ・自己資本比率：自己資本／総資産
- ・時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産
- ・キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー
- ・インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

注) 1. 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

2. 株式時価総額は、自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

3. キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いにつきましては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

4. 2016年2月期のキャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオについては、営業キャッシュ・フローがマイナスであるため記載しておりません。

(4) 今後の見通し

当社グループを取り巻く経済情勢につきましては、昨年10月の消費増税の影響や、新型コロナウイルスの内外経済に与える影響の長期化や拡大が懸念され、引続き予断を許さない状況です。

このような状況の中、当社グループは、企業ビジョン「いつ行っても欲しいものがあり、いつ行っても気持ちよく買い物ができ、また行ってみたいと思っただけの百貨店」の実現に向け、前連結会計年度に引続き店頭販売力の強化、食品強化によるデイリーユース商材の拡大、EC部門の活性化、外商関係施策の強化等の営業施策を継続的に推進しその効果を拡大していきます。

財務基盤の強化における主要施策である経費削減策につきましては、前年度に実施した各施策が今年度は通期で寄与します。また前年度に加えて、新たなコスト削減施策の実施、要員配置の見直し、宣伝費・販売費の効果的な運用策の実施等に取り組んでまいります。

更に、業績が低迷している横須賀店の抜本的な見直しを検討するなど、業績の改善策を全社一丸となって進めてまいります。

当連結会計年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響で、期初から店舗外での催事を全て中止するなど営業活動の縮小を余儀なくされてきました。更に4月7日に政府から発表された「緊急事態宣言」を踏まえ、お客様および従業員の健康と安全の確保、および感染拡大防止の観点から、当社各店の営業体制を4月8日から5月6日の間、食料品フロアをのぞき臨時休業としております。臨時休業期間・営業時間・営業フロアなどにつきましては緊急事態宣言の解除の時期などにより変更する場合があります。

業績予想につきましては、現時点では上記の新型コロナウイルスによる影響額の把握や業績予想を合理的な数値で示すことが困難な状況であることから未定とさせていただきます。

2021年2月期の連結業績予想につきましては、合理的に予想可能となった時点で公表いたします。

(5) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、当連結会計年度におきまして、営業損失18百万円を計上し、現在4期連続して営業損失を計上している状況であり、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせる状況が存在しております。

これらを解消し業績回復を実現するため、1.経営成績等の概況 (4)今後の見通しに記載の通り営業強化策や経費削減効策を継続的な推進し更なる業績の改善策を進めてまいります。

また、直近4期のいずれの連結会計年度においても営業キャッシュフローはプラスであること、主要取引銀行の支援体制も十分確保できており資金繰りの懸念はないこと等から、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、企業間の比較可能性を考慮し、当面は日本基準を適用する方針であります。

なお、国際財務報告基準（IFRS）の適用につきましては、国内外の状況を踏まえ、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当連結会計年度 (2020年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	516,016	681,769
売掛金	449,419	486,825
商品	554,252	531,409
貯蔵品	36,743	36,995
その他	155,499	183,835
流動資産合計	1,711,930	1,920,835
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,220,648	3,449,997
土地	4,563,718	4,563,572
リース資産(純額)	43,218	20,314
その他(純額)	18,616	19,182
有形固定資産合計	7,846,201	8,053,067
無形固定資産		
その他	9,577	10,345
無形固定資産合計	9,577	10,345
投資その他の資産		
投資有価証券	347,708	311,626
敷金及び保証金	951,128	979,788
破産更生債権等	12,698	12,647
長期前払費用	576,136	119,429
その他	61,970	61,970
貸倒引当金	△12,160	△12,170
投資その他の資産合計	1,937,482	1,473,292
固定資産合計	9,793,262	9,536,705
資産合計	11,505,192	11,457,540

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当連結会計年度 (2020年2月29日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	29,770	28,402
買掛金	1,341,205	1,385,301
短期借入金	700,000	700,000
1年内返済予定の長期借入金	454,799	198,140
未払法人税等	15,734	16,571
商品券	673,161	640,858
賞与引当金	38,532	18,518
商品券回収損引当金	648,075	631,836
ポイント引当金	32,136	36,767
その他	638,496	729,423
流動負債合計	4,571,910	4,385,818
固定負債		
長期借入金	4,554,930	5,062,790
繰延税金負債	143,627	124,247
退職給付に係る負債	425,920	419,136
資産除去債務	152,349	157,549
リース債務	7,779	886
その他	255,424	70,324
固定負債合計	5,540,031	5,834,934
負債合計	10,111,942	10,220,753
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,945,290	1,945,290
資本剰余金	1,637,078	1,637,078
利益剰余金	△2,186,211	△2,317,168
自己株式	△42,985	△43,079
株主資本合計	1,353,172	1,222,122
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	40,077	14,665
その他の包括利益累計額合計	40,077	14,665
純資産合計	1,393,250	1,236,787
負債純資産合計	11,505,192	11,457,540

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)	当連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)
売上高	19,384,727	18,431,096
売上原価	15,250,912	14,511,645
売上総利益	4,133,814	3,919,451
販売費及び一般管理費		
販売費	342,363	348,542
ポイント引当金繰入額	1,294	4,631
広告宣伝費	374,953	392,458
給料及び手当	1,244,768	1,145,644
賞与	76,502	37,695
賞与引当金繰入額	493	△20,013
退職給付費用	44,437	44,303
その他の人件費	163,192	153,744
地代家賃	645,030	589,474
委託作業費	383,247	345,731
減価償却費	348,982	344,611
貸倒引当金繰入額	—	10
その他	542,913	551,440
販売費及び一般管理費合計	4,168,178	3,938,275
営業損失(△)	△34,363	△18,824
営業外収益		
受取利息	402	295
受取配当金	4,038	4,065
受取手数料	1,680	1,599
貸倒引当金戻入額	290	—
受取保険金	—	11,181
その他	3,146	3,338
営業外収益合計	9,557	20,480
営業外費用		
支払利息	115,788	117,981
商品券等整理損	9,586	11,419
その他	7,809	2,770
営業外費用合計	133,185	132,170
経常損失(△)	△157,991	△130,514

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)	当連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)
特別利益		
投資有価証券売却益	22,960	—
特別利益合計	22,960	—
特別損失		
固定資産除却損	2,446	2,297
投資有価証券評価損	8,023	273
減損損失	1,399	145
特別損失合計	11,868	2,716
税金等調整前当期純損失(△)	△146,899	△133,230
法人税、住民税及び事業税	6,895	5,901
法人税等調整額	△8,778	△8,175
法人税等合計	△1,882	△2,273
当期純損失(△)	△145,016	△130,957
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△145,016	△130,957

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)	当連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)
当期純損失(△)	△145,016	△130,957
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10,550	△25,411
その他の包括利益合計	△10,550	△25,411
包括利益	△155,567	△156,369
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△155,567	△156,369
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)

(単位:千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額		純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	その他の 包括利益 累計額合計	
当期首残高	1,945,290	1,637,078	△2,041,194	△42,909	1,498,265	50,627	50,627	1,548,892
当期変動額								
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)			△145,016		△145,016		—	△145,016
自己株式の取得				△75	△75		—	△75
株主資本以外の項目 の当期変動額(純 額)					—	△10,550	△10,550	△10,550
当期変動額合計	—	—	△145,016	△75	△145,092	△10,550	△10,550	△155,642
当期末残高	1,945,290	1,637,078	△2,186,211	△42,985	1,353,172	40,077	40,077	1,393,250

当連結会計年度(自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)

(単位:千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額		純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	その他の 包括利益 累計額合計	
当期首残高	1,945,290	1,637,078	△2,186,211	△42,985	1,353,172	40,077	40,077	1,393,250
当期変動額								
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)			△130,957		△130,957		—	△130,957
自己株式の取得				△93	△93		—	△93
株主資本以外の項目 の当期変動額(純 額)					—	△25,411	△25,411	△25,411
当期変動額合計	—	—	△130,957	△93	△131,050	△25,411	△25,411	△156,462
当期末残高	1,945,290	1,637,078	△2,317,168	△43,079	1,222,122	14,665	14,665	1,236,787

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)	当連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純損失(△)	△146,899	△133,230
減価償却費	399,214	386,805
減損損失	1,399	145
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△290	10
賞与引当金の増減額(△は減少)	493	△20,013
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	28,207	△6,784
商品券回収損引当金の増減額(△は減少)	△12,572	△16,239
ポイント引当金の増減額(△は減少)	1,294	4,631
受取利息及び受取配当金	△4,440	△4,360
支払利息	115,788	117,981
投資有価証券売却損益(△は益)	△22,960	—
投資有価証券評価損益(△は益)	8,023	273
固定資産除却損	2,446	2,297
売上債権の増減額(△は増加)	△1,465	△37,406
たな卸資産の増減額(△は増加)	69,614	22,591
仕入債務の増減額(△は減少)	△81,593	42,727
未払消費税等の増減額(△は減少)	△74,809	40
未払費用の増減額(△は減少)	△20,458	86,577
商品券の増減額(△は減少)	△23,454	△32,302
その他	16,643	△136,923
小計	254,181	276,820
利息及び配当金の受取額	4,440	4,360
利息の支払額	△115,656	△117,361
法人税等の支払額	△13,550	△5,852
法人税等の還付額	—	3,735
営業活動によるキャッシュ・フロー	129,415	161,703
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△48,834	△34,638
無形固定資産の取得による支出	△657	△8,220
投資有価証券の取得による支出	△786	△807
投資有価証券の売却による収入	31,160	—
貸付けによる支出	—	△1,680
貸付金の回収による収入	—	225
差入保証金の差入による支出	△9,000	△79,014
差入保証金の回収による収入	37,598	50,340
長期前払費用の取得による支出	△186,989	△155,824
投資活動によるキャッシュ・フロー	△177,509	△229,619
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	450,000	—
長期借入れによる収入	—	710,000
長期借入金の返済による支出	△424,300	△458,799
リース債務の返済による支出	△116,702	△17,437
その他	△75	△93
財務活動によるキャッシュ・フロー	△91,077	233,668
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△139,172	165,753
現金及び現金同等物の期首残高	655,188	516,016
現金及び現金同等物の期末残高	516,016	681,769

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前連結会計年度(自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)

当社グループは、百貨店業のみの単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)

当社グループは、百貨店業のみの単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)

1 製品及びサービスごとの情報

当社グループは、百貨店業のみの単一セグメントであるため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%を占める相手先がないため、記載はありません。

当連結会計年度(自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)

1 製品及びサービスごとの情報

当社グループは、百貨店業のみの単一セグメントであるため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%を占める相手先がないため、記載はありません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)

当社グループは、百貨店業のみの単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)

当社グループは、百貨店業のみの単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2018年3月1日 至 平2019年2月28日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度(自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)	当連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)
1株当たり純資産額	208.87円	158.74円
1株当たり当期純損失金額(△)	△46.48円	△41.97円
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益金額	—円	—円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため、記載していません。

2. 1株当たり当期純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)	当連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)
親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△145,016	△130,957
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純損失(△)(千円)	△145,016	△130,957
期中平均株式数(千株)	3,120	3,120

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

(1) 販売の状況

連結売上高の内訳

	前連結会計年度		当連結会計年度		前年増減対比	
	自 2018年3月 1日 至 2019年2月28日		自 2019年3月 1日 至 2020年2月29日			
	売上高 (千円)	構成比 (%)	売上高 (千円)	構成比 (%)	前年増減額 (千円)	前年対比 (%)
㈱さいか屋	19,372,802	96.1	18,422,450	96.5	△950,351	95.1
アルファトレンド㈱	777,493	3.8	652,741	3.4	△124,751	84.0
㈱さいか屋友の会	15,478	0.1	15,124	0.1	△353	97.7
小 計	20,165,774	100.0	19,090,317	100.0	△1,075,457	94.7
内部売上高の消去	△781,046	—	△659,220	—	121,826	—
合 計	19,384,727	—	18,431,096	—	△953,630	95.1

店別売上高 (単体)

	前事業年度		当事業年度		前年増減対比	
	自 2018年3月 1日 至 2019年2月28日		自 2019年3月 1日 至 2020年2月29日			
	売上高 (千円)	構成比 (%)	売上高 (千円)	構成比 (%)	前年増減額 (千円)	前年対比 (%)
藤沢店	10,820,789	57.5	10,327,339	57.8	△493,449	95.4
横須賀店	7,018,150	37.3	6,585,838	36.9	△432,312	93.8
川崎店	951,304	5.0	924,001	5.2	△27,303	97.1
町田ジョルナ	42,021	0.2	13,135	0.1	△28,885	31.3
小 計	18,832,265	100.0	17,850,314	100.0	△981,951	94.8
テナント及び手数料収入	540,537	—	572,136	—	31,599	105.8
合 計	19,372,802	—	18,422,450	—	△950,351	95.1

商品別売上高 (単体)

	前事業年度		当事業年度		前年増減対比	
	自 2018年3月 1日 至 2019年2月28日		自 2019年3月 1日 至 2020年2月29日			
	売上高 (千円)	構成比 (%)	売上高 (千円)	構成比 (%)	前年増減額 (千円)	前年対比 (%)
衣料品	4,828,119	25.6	4,558,449	25.5	△269,670	94.4
身回品	1,809,436	9.6	1,714,992	9.6	△94,444	94.8
雑貨	3,201,575	17.0	2,819,693	15.8	△381,882	88.1
家庭用品	465,832	2.5	439,723	2.5	△26,109	94.4
食料品	7,551,227	40.1	7,362,499	41.3	△188,727	97.5
食堂・喫茶	468,543	2.5	434,298	2.4	△34,245	92.7
その他	507,532	2.7	520,659	2.9	13,127	102.6
合 計	18,832,265	100.0	17,850,314	100.0	△981,951	94.8